

令和6年度 事業報告

令和6年度は、旅行需要のさらなる増加や円安環境の継続により、訪日外国人旅行者数は引き続き高水準を維持しました。特に1月には単月として初めて370万人を超えたほか、1~3月の累計でも過去最速で1,000万人を突破するなど好調に推移しました。

成田空港におきましては、昨年7月に今後の空港機能の強化と地域社会との共生を見据えた「新しい成田空港」構想とりまとめ2.0が公表され、空港の将来像と課題解決に向けた具体的な方向性が示されました。また、SKYTRAX社の“WORLD AIRPORT RATING”において、2年連続で最高評価の5スターを獲得するなど、その優れた施設・設備やサービスが広く認知されることとなりました。

当期における成田空港の運用状況としましては、航空機発着回数は国内線は前年度比2%減の49,834回と若干減少したものの、国際線は同16%増の195,695回、全体では同12%増の245,529回となりました。航空旅客数は、国内線は前年度比5%減の7,398千人と減少したものの、国際線は同22%増の33,375千人、全体では同16%増の40,774千人となり、5期ぶりに40,000千人を突破しました。

このような状況の下、令和6年度の当協会は、旅客の増加基調を追い風に、一つ一つの事業を持続的な成長につなげられるよう各事業・施策を着実に実施してまいりました。特に事業規模が回復する中で生じた人手不足の状況に対応するため、スタッフの採用活動を継続的に実施するとともに、物価水準の高騰なども考慮して、賃上げをはじめとする待遇改善にも取り組みました。また、1月には働きやすい職場環境の提供及び組織の一体感の醸成を目的として、これまで事務所を別にしていた環境技術部を統合した新事務所を設置するなど、職場環境の改善を図りました。

公益事業では、小学生を対象とした野球大会やサッカー大会、中学生を対象とした英語スピーチコンテストを開催したほか、訪日客数の増加を受け、コロナ禍以降休止していた日本文化紹介体験イベントを再開しました。また、保育ルームたんぽぽの運営については、空港内事業所への周知活動や見学会の毎月開催など、定員充足に向けた諸施策を継続して実施しました。

受託事業では、環境業務において、航空機騒音実態調査等の従来からの業務のほか、サステナブルNRT2050に関する業務を実施しました。特にACIが世界の空港の脱炭素化の取り組みを評価する空港カーボン認証プログラムにおいて、成田空港のレベル4取得に大きく貢献しました。また、旅客対応の業務においては、第1ターミナル南棟における旅客案内業務に加え、コロナ禍以降休止していた空港案内ボランティアの活動を再開させるなど、訪日客増加への対応に貢献しました。

収益事業では、手荷物一時預かり所におけるバゲージラッピングサービスや各ターミナルのコインロッカーの売上げが好調に推移し増収に貢献しました。また、この旺盛な需要に対応するため、第1・第2ターミナルにおいてロッカーの増設を実施しました。

第1 事業概要

1. 空港利用者の便益増進に関する事業

(1) 日本文化紹介体験事業

① 日本文化紹介体験イベント

第1・第2ターミナル制限エリア内における日本文化紹介体験イベントについては、コロナ禍以降休止しておりましたが、国際線外国人旅客数の回復を受け、NAAからの受託事業として再開し、令和6年9月から令和7年3月までの112日間、折り紙体験、着物の着付け体験、甲冑の着装体験を実施しました。

なお、体験型の当該事業は令和7年度以降はNAAグループ企業が実施することとなったことから、新たなイベントの企画・検討を実施しました。

② 空港周辺ツアー

成田空港トランジット&ステイプログラム連絡会が実施する空港周辺ツアーについて、ツアーは引き続き休止しましたが、今後のトランジット&ステイプログラムの方向性を検討するため、これまで無償を前提にしていたボランティアツアーの有償化に向けたモニターツアーを実施しました。また、再開後の訪日旅客の誘致に向けて、同ツアーの魅力をもSNS(Facebook)を活用して発信したほか、ボランティアのモチベーション維持を目的としたメールマガジンを配信しました。

2. 空港と空港関係地域社会との調和促進に関する事業

(1) スポーツ大会開催事業

小学生を対象とした野球大会(第23回)を4月、サッカー大会(第30回)を12月に開催しました。サッカー大会については、これまで7月に開催していましたが、ここ数年の夏の酷暑を受け、参加選手の身体的負担を考慮し開催時期を冬季に変更し実施しました。

なお、中学生を対象としたバレーボール大会については、関係各所と調整の結果、開催を見送りました。

(2) 英語スピーチコンテスト

9月から10月にかけて周辺地域の中学生を対象とした英語スピーチコンテストを開催しました。暗唱の部(1、2年生)、スピーチの部(3年生)の3部門に22校から57名の応募がありました。昨年度と同様、一次審査は提出された暗唱・スピーチの発表動画を審査し、二次審査は市内のホールにて開催しました。また、第30回記念として、第22回の同コンテストにて最優秀賞を受賞した方をお招きし、受賞当時のお話や生徒の皆さんへのメッセージなどを講話していただきました。

(3) 職場体験受入事業

空港周辺市町の中学生、高校生を当協会が実施する旅客案内業務に受け入れ、社会経験の

場を提供しました。

・高等学校 1校 参加2名

3. 空港に係る広報活動に関する事業

(1) エアポートニュース発行事業

「NARITA AIRPORT NEWS」については、2025年1月号(No.367)を発行しました。

(発行部数 1,350部) また、紙面を2面から4面に拡大し、空港内の主な事業所の代表の方々から新年のご挨拶を頂戴し発行しました。

4. 空港に係る調査研究に関する事業

(1) 航空機騒音の影響に関する研究

① 第53回国際騒音制御工学会議・Inter-Noise2024(発表)

「航空機騒音の簡便な予測方法の検討」

② 米国の騒音制御工学研究所(INCE/USA)学会誌 研究発表(共著)

「音源別モデルに基づく新しい航空機騒音予測 J-FRAIN の開発」

③ 日本音響学会 騒音・振動研究委員会(発表※・共著)

「航空機騒音の評価量と総合騒音との比較」※

「騒音測定結果による航空機着陸時のリバーススラストの推定と空港間比較」

「航空機騒音の音質および特異音に関する印象評価」

「部位別音源モデルを用いた着陸時航空機騒音予測フレームワーク J-FRAIN の開発」

「航空機騒音の測定・評価における課題と考察①」

「航空機騒音の測定・評価における課題と考察②」※

④ 日本音響学会 2024 秋季研究発表会(共著)

「航空機騒音に対する他の騒音の重畳判定: CNN の学習データに含まれる機種の違いに伴う精度の差」

⑤ 日本騒音制御工学会 2024 秋季研究発表会(共著)

「航空機騒音に対する他の音の重畳判定: 複数飛行場におけるデータセットの統合学習」

⑥ 自主研究 1件

(2) 航空環境等に関する協力

① 航空機騒音監視評価委員(成田空港周辺地域共生財団)

② (国研)産業技術総合研究所 計量標準総合センター 講師

③ 日本騒音制御工学会 技術講習会 実行委員

5. 空港従事者の資質向上等に関する事業

(1) 保育ルーム運営事業

保育ルームたんぽぽの運営については、年度当初は園児60名でスタートしましたが、7月

以降は徐々に増加傾向となり、令和7年3月には73名（0歳児13名、1歳児19名、2歳児11名、3歳児8名、4歳児6名、5歳児16名）となりました。

定員充足に向けた園児の募集については、グループ会社及び空港関連事業所への周知や空港従業員向けにポスター掲示を行うとともに、月2回の見学会の実施、成田市へ園児募集チラシの設置を依頼するなど、潜在需要を喚起する活動を実施しました。

生活面では、体育教室、英語遊び、SDGs教育などに力をいれたほか、ランプセントラルタワーの見学に参加したり、航空会社様のご厚意により時節のイベントや記念イベントに参加させていただくなど、空港にある保育園ならではの魅力ある施設運営に努めました。また、第2駐車場ビル中央広場のリニューアル工事に伴い、広場内に新しい園庭が設置されました。

6. 委託を受けて空港の管理業務の一部を行う事業

(1) 環境業務

① 統合環境監視システム運用業務

NAA 航空機騒音監視システム、大気質常時監視システム、水質・地下水位自動観測システムの運用及び保守点検作業を実施しました。

② 航空機騒音に関する調査解析業務

NAA 及び空港周辺市町等から受注した空港周辺の航空機騒音実態調査、航空機に関する各種調査並びに解析作業を実施しました。

③ 空港周辺の大気質に関する調査解析業務

NAA から受注した空港周辺の大気質に関する調査及び解析作業を実施しました。

④ 空港周辺の水質に関する調査解析業務

NAA から受注した空港周辺の水質に関する調査及び解析作業を実施しました。

⑤ 空港カーボンニュートラルに関する業務

NAA から受注したサステナブルNRT2050推進に関する算定及び空港カーボン認証プログラム更新申請に係る作業を実施しました。

⑥ 自然環境保全に関する生物保全業務

NAA から受注した環境影響評価手続きに基づく生物の生息域外保全作業を実施しました。

⑦ 航空機落下物防止に関する業務

NAA から受注した落下物防止に関する氷塊付着状況調査及び部品欠落調査を実施しました。

⑧ その他の調査業務

航空機騒音格付け確認、エンジン試運転低周波音、住宅遮音効果、外来植物除去等の作業

を実施しました。

(2) 旅客案内業務

NAA から受注した第1旅客ターミナルビル南棟における旅客案内業務を実施しました。また、同ビル南棟保安検査場付近における Face Express 対応に係るサービス業務、出発動線における電動カート運行業務、入国審査場内におけるファーストレーン案内業務、WHILL（電動車イス）運行に係る管理業務を実施しました。

(3) 旅客サービス施設運営業務

NAA から受注した旅客サービス施設運営業務については、第1・第2旅客ターミナルビルにおけるリフレッシュルーム及びシャワールームの受付等業務を実施しました。

(4) その他の業務

① 「成田空港公式ガイド」の編集

NAA から受注した各ターミナルの店舗・サービス情報等を掲載したお客様向け公式ガイドである「成田空港フロアガイド」について、7月発行版の編集業務のほか在庫管理および納品作業を実施しました。

② 「成田空港ハンドブック」の発行

成田空港に関する各種情報を掲載した「成田空港ハンドブック 2024 年度版」(NAA 監修)を発行しました。

③ 談話室の運営

空港従事者の親睦と交流を目的とした談話室の運営を行いました。

④ 書道・絵画展作品整理作業

NAA から受注した成田空港周辺児童書道・絵画展の応募作品の整理・集計、展示場の設営、表彰式の補助作業等を実施しました。

・応募学校数 79 校、応募作品数 9,865 点（書道 5,518 点、絵画 4,347 点）

⑤ 案内ボランティア事務局業務

NAA から受注した成田空港案内ボランティア事務局業務は、10月1日から活動を再開し、第1、第2、第3ターミナルビルの到着階及び地下コンコースにおいて毎週金曜、土曜、日曜日、14時～18時においてボランティア活動を実施しました。

・活動日数 76 日間

⑥ 空港見学ツアーに係るガイド業務

GPA から受注した空港見学ツアーにおけるガイド業務を実施しました。

・年間実施回数 35 回 ガイド 40 名

7. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 受託業務

他空港に関する以下の航空機騒音関連作業を実施しました。

- ・騒音予測
- ・騒音実態調査

(2) 手荷物一時預かり事業

手荷物一時預かり所については、航空旅客の手荷物等の一時預かり、機内預入荷物のバゲージラッピング、スーツケースの開錠などの業務を計画どおり実施しました。また、全ターミナルにおいて、コインロッカーの管理業務を実施したほか、8月に第1ターミナル3か所、第2ターミナル1か所においてコインロッカーを増設しました。

第2 庶務事項

1. 評議員会・理事会

(1) 第39回理事会（通常） 令和6年6月10日開催

- 第1号議案 令和5年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和5年度決算承認の件
- 第3号議案 公益目的支出計画実施報告書の承認の件
- 第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項承認の件
- 第5号議案 規程改正承認の件
- 報告事項 職務の執行状況報告の件

以上5議案について審議決定されました。

(2) 第18回評議員会（定時） 令和6年6月27日開催

- 報告事項1 令和5年度事業報告書の内容報告の件
- 第1号議案 令和5年度決算承認の件
- 報告事項2 公益目的支出計画実施報告書の内容報告の件
- 報告事項3 令和6年度事業計画書及び予算書の内容報告の件
- 第2号議案 理事選任の件

以上2議案について審議決定されました。

(3) 第40回理事会（通常） 令和7年3月26日開催

- 報告事項 職務の執行状況報告の件
- 第1号議案 令和7年度事業計画承認の件
- 第2号議案 令和7年度予算承認の件
- 第3号議案 規程改正承認の件

以上3議案について審議決定されました。

2. 役員等

(1) 評議員 令和7年3月31日現在

- 評議員 大森 寿明 元 日本ホテル(株) 会長
- 評議員 小島 直人 (株)グリーンポート・エージェンシー 代表取締役社長
- 評議員 斉田 正己 元 成田国際空港(株) 代表取締役副社長
- 評議員 佐久間 勇 (一財)芝山町振興公社 理事長
- 評議員 関 恒明 成田国際空港(株) 取締役 管理部門長
- 評議員 関根 賢次 成田市 副市長
- 評議員 坪川 誠 元 (財)成田国際空港振興協会 理事長
- 評議員 永井 隆男 前 (公財)航空科学博物館 理事長
- 評議員 中留 恵孝 元 (株)成田エアポートテクノ 代表取締役社長

(五十音順)

(2) 理事及び監事 令和7年3月31日現在

代表理事	深谷 憲一	(一財)成田国際空港振興協会 会長
代表理事	川島 栄治	(一財)成田国際空港振興協会 理事長
業務執行理事	吉岡 美恵子	(一財)成田国際空港振興協会 常務理事
理事	岩崎 俊一	(一財)空港振興・環境整備支援機構 理事長
理事	蝦名 邦晴	(一社)日本旅行業協会 理事長
理事	大八木 淳子	日本航空(株) 成田空港支店長
理事	岡 功士	全日本空輸(株) 上席執行役員 前成田空港支店長
理事	佐藤 育哉	成田国際空港(株) 執行役員 経営企画部門 関連事業部長
理事	長塚 健治	京成電鉄(株) 執行役員 鉄道本部運輸部長
理事	野村 晃永	成田国際空港航空会社運営協議会 事務局長
監事	土屋 伸一	成田国際空港(株) 財務部門 財務部長
監事	橋本 勝	元(株)グリーンポート・エージェンシー 代表取締役社長 (理事・監事 五十音順)

3. 基本財産

令和6年度末現在 20,000千円

4. 事務局

(1) 事務所

千葉県成田市古込字古込1番地1 (成田国際空港内 南オペレーションセンター2階)

(2) 職員数 (令和7年3月31日現在)

①総務部	8人
②公益推進部	4人
③環境技術部	20人
④旅客事業部	61人 (職員・嘱託職員・特定職員・契約職員)
	37人 (パート職員・派遣職員)
⑤出向・育児休業者等	16人
合計	146人 (役員を除く)